

## 第1回館林市子ども・子育て会議 会議録 概要

1 日 時 平成25年10月31日(木) 午後1時30分～3時00分

2 場 所 市役所2階 202会議室

3 出席者

【館林市子ども・子育て会議委員】 13名 (欠席2名)

渡辺委員、永井委員、大谷委員、角田委員、田村委員、篠塚委員、多田委員、  
長柄委員、鎌田委員、小池委員、吉田委員、柴田委員、寺内委員 (以上名簿順)

【事務局】 9名

こども福祉課：伊藤課長、奥澤子育て支援係長、松村保育係長、関口主任、熊田  
教育総務課：森田参事兼課長、戸叶総括係長  
学校教育課：飯島参事兼課長、広沢学事係長

4 議 題

- (1) 館林市子ども・子育て会議運営規則について
- (2) 基本指針の概要について
- (3) ニーズ調査の内容、実施方法について

5 配布資料

館林市子ども・子育て会議第1回会議次第

館林市子ども・子育て会議運営規則(案)

(資料1) 子育て支援関係一覧

(資料2) 館林市次世代育成支援行動計画(後期計画)概要版

館林市次世代育成支援行動計画(後期計画)平成24年度事業報告

(資料3) ニーズ調査の内容、実施方法について

(資料4) 【参考資料】年齢別住民基本台帳人口及び保育園児・幼稚園児数等一覧

6 会議内容

- (1) 開 会
- (2) あいさつ

こども福祉課長

- (3) 会長・副会長の選出

会長には、委員の互選により渡辺委員、副会長には、会長の指名により大谷委員が  
選任された。

#### (4) 議 事

##### ①館林市子ども・子育て会議運営規則について

事務局より、配布資料の運営規則（案）について説明

##### 【質疑】

委 員：会議の公開となりますと、どの程度の大きさの会場と傍聴人を考えていますか？

事務局：会場の都合にもよりますが、できるだけ広い会議室、501 会議室や研修室を予定しています。

会 長：会議開催の事前公表はホームページ等で公表しますか？

事務局：そのように考えております。

全委員承認につき、会議運営規則は案のとおり決定

##### ②基本方針の概要について

事務局より、前回配布資料（基本方針、主な記載事項）を基に概要を説明

##### ③ニーズ調査の内容、実施方法について

事務局より、配布資料 3 に基づき概要を説明

##### 【質疑】

委 員：調査についてですが、今までやってきたことを利用されている方に聞いてもっとよりよいものにするとか利用度を高めていくという観点は、今回のニーズ調査にふさわしいのでしょうか？

子育ての当事者である就学前児童 2,000 人、小学生 500 人の保護者が対象者というのは？

事務局：県の説明ですと、基本、調査は就学前児童としています。小学生については任意ですが、これから放課後児童クラブを利用する方を中心にとされています。

近隣の市町の状況も確認をし、放課後児童クラブを利用している方も含め小学生も抽出し意見を集約すべきではと考え、小学生 500 人も対象としました。

抽出は無作為ですから、利用されている方も利用されていない方も抽出にかかりますので、そのような形でとらえていただければと思います。

委 員：そのような方向で考えられた判断ということは理解できました。

小学生 500 人とありますが、低学年がニーズの主役になろうかと思いで、低学年 400 人、高学年 100 人というのはいかがでしょうか？

事務局：参考にし、検討させていただきます。

委員：就学前児童の全体の人数は？

事務局：配布資料4として参考資料を用意しました。4/1現在で3,869人です。この中には兄弟の方もおりますので、世帯で1枚とした場合、調査対象2,000人とすると、かなり多くの家庭に調査をさせていただくことができると思います。

委員：無作為抽出では、幼稚園、保育園の偏りがあったり、ニーズのずれがでてきたりはしないのでしょうか？

事務局：県からの説明で、枠を指定しての調査は避けるようにと言われており、無作為抽出ですと、幼稚園、保育園のどちらに通っているか分からない中で全体での抽出となり、偏りがないようにと考えております。

今回の調査の目的である需要量を出さなくてはいけない部分では、限りなく正確にとりたいたため、概ねすべての家庭に調査ができるよう考えておりますので、2,000人をとることで充分かと思えます。

会長：統計学でサンプリングの方法等は、専門家の業者が承知しておりますので、偏りがないように、ご指摘はカバーできると思います。

事務局：今回の調査は、今どうなのかではなく、本当はどうしたいのかという、保護者としての意向調査ですので、無作為抽出がベターであると考えています。

会長：次世代育成支援行動計画の際のニーズ調査では、回収率はどのくらいでしたか？

事務局：55%は超えています。

会長：調査の項目の中に、基本指針の中での社会的な支援の必要性が高い子どもたちに関してはありますか？

事務局：調査の目的である需要量には直接関係していないので、項目の中にはありません。調査の中に入れるかどうかは、市に任せられています。

委員：調査の回収は郵便のみで行うのでしょうか？

事務局：公立の幼稚園や保育園でも回収ができるよう打合せをしていきます。また、調査締め切り期日までには、お礼状兼督促状を出す予定です。

委員：若い保護者では、調査に答えられない部分もあるのでは？

事務局：できるだけ回答しやすいように、就学前児童と小学生の調査票を分けていく予定です。

委員：外国人の保護者の方の場合は、なかなか回収は難しいと思いますので、回収率が心配です。

委員：回収率 60%くらいは必要なものですか？

事務局：私立の幼稚園や保育園にも回収の協力をお願いしていきたいと思ひます。また、配布資料 1 の子育て支援関係一覧にもありますが、各施設等にも調査実施促進等の協力依頼をし、できれば回収率が 70%を超えるようにしていきたいと思ひます。

委員：調査項目をできるだけ分かりやすく、答えやすいように説明等を付け加えていただきたい。また、自由意見の欄をもう少し皆が記入していただけるように工夫していただきたい。いくつかの選択方式にし、それについての記入としたり、保護者が求めているものを聞き出せるようにしていただきたい。

例えば、保育時間や保育料のこと、安全面や職員の資格のこと、手作り給食等についてです。

会長：まったくの自由記述ではなく、ある程度項目を抽出し選択してから意見を書くような形にしていくのは可能でしょうか？

事務局：業者との打合せの中で検討してまいりますので、他委員さんも調査項目の意見がありましたら、11月中旬までをお願いします。

また、調査票のひな形ができあがりましたら、一度全委員さんに送付させていただきます、検討していただきたいと思ひております。

会長：その都度お集まりいただくのは大変でしょうから、最終的な決定は会長、副会長にお任せいただければと思ひます。よろしいでしょうか？

全委員異議なしのため承認

#### ④その他

##### 【質疑】

委員：住みよいまちづくりを推進し、若い人たちの人口を増やし、そして、少子化の対策にも力をいれていただきたいと思ひます。

事務局：そのとおりと認識しております。市でも少子化対策に取り組んでいく方向でおりますので、ご理解いただきたいと思ひます。

#### (5) 事務連絡

調査票項目に意見等がありましたら 11月中旬までに事務局までお願いします。

また、市の調査票のひな形ができあがりましたら、送付させていただきますので、検討の方よろしくお願ひいたします。

なお、次回の会議は 2 月を予定しております。

#### (6) 閉 会